

税金は
納期限内に
固定資産税二期
納期限は九月一日

広報 あいかわ

わたしたちの町

人口 男 5,200
女 5,546
計 10,746
7月中の転入 19人 転出 47
世帯数 2,211
(7月31日現在)



7月10日開かれた
営農研究会

◇東地区
笠井健一 後藤久美
佐藤太一郎
◇北地区
奈良吉五郎 藤田勝義
小田慶一

集團営農方式の研究を始める

圃場整備後の

農業生産組合の

設立をめざして

最近、農家の労働力が老令化とともに年々減少し、これに伴って労賃の高騰が続いて、その結果、各農家の大型機械の過剰設備のおそれがでてきている。更に米価の据置きで、このままでは農家の実質所得が極端に低下する等、全町のほ場整備の着工をきっかけに、これらの諸問題を解決して、新しい時代に即した営農形態を確立するため、集團的農業生産組合を設立する方向を固めて、町で関係者との意見調整を始めた。

理想的な大型組織

この営農組織の構想は、病害虫の防除、稲刈から最低一〇〇ヘクタール以上の集團を目標にして国の第二次構造改善事業の指定を受け、大型機械の導入を図って最も近代的な作業体系を確立し、その経営は農業に意欲のある青年が中心となり、集團であったことに望ましいとしており、この構想が具体化して、生れによって、種々の選定か産費がかからない、耕作から苗づくり、田植、除草、能力のない兼業農家の場合

農家の不安解消と 利益を基本にして

しかし問題が面的で農家の実質的な生活に直接関係のあるものであるだけに、この構想を具体化して行くためには、あくまでも農家の不安を解消し、農民の利益を基本にした姿勢が絶対の条件であるわけである。町では、この構想がまだばく然としたものではあるが、積極的に関心する農家が、積極的に関心する農家を固めていくので、関係者との意見調整をするため去る七月十日、各部実践班を中心に第一回の話し合いをしたが、八月一日再びその会を開いていろいろな角度から討議が行なわれ、話し合いから一歩前進して、営農形態研究会を結成する方向で意見が一致し、その世話人に次の各氏を選んで散会した。

1、現行作業体系で2ヘクタール 個人経営10アール当りの生産費

(自動耕運機が主体の場合)
労働時間 154.3時間
賃金 15,555円
(1時間当り1 150円)
機械利用費16,540円
計 32,095円

2、現行作業体系で2ヘクタール 個人経営10アール当り生産費

(トラクター、コンバインが主体の場合)
労働時間 111.5時間
賃金 11,010円
機械利用費25,420円
計 36,420円

3、改善作業体系で200ヘクタール 集團の場合10アール当り生産費

労働時間 68.0時間
賃金 7,875円
機械利用費 9,190円
計 17,065円

1,500ヘクタールが同意

大野台地区国営総合開拓 パイロット事業

森吉、合川、鷹巣の三町にまたがる大野台、広大な土地でありながら利用状態が粗放的であるため、これを開田して関係農家の経営規模を拡大し、生産性を高め自立経営農家の育成をはかるために、昭和四十二年国営パイロット事業調査地区として採択され、その開発に関するいろいろな調査が実施されてきた。

きびしい条件に 急変したが

田に対する不安があったのですが、東北地方は収量、味の面においても稲作の適地であり、国の食糧供給基地として水稲の生産地化をの過剰問題に伴い、開田のはかるとの方針で今年度も抑制、作付転換等きびしい開田を目的とした調査費が国の農業施策が打出され認められたのであります。

これからの事業の進め方は

今後この事業は、今年度中に過去三ヶ年のいろいろな調査資料をもとに基本計画がたてられ、来年度は具体的な地域全体の施設設計に入り実質的には工事着手の段階に入ることになります。

営農形態も 検討されている

いま、国県や町では大野台開発後の営農形態についていろいろな検討がなされていますが、開田による農地の拡大で必然的に大型機械が

圃場整備事業の 通年施行とは

全町に亘る約千ヘクタールの圃場整備事業はいよいよ今秋から杉山田、雪田地区の四十ヘクタールをトップに着工されるが、去る六月農業委員会がその通年施行の実施を町に建議したり、客観状況の変化等により、この問題がにわかにはクロウズアップされてきたので、その内容と見とおしについて土地改良区の事務局に聞いてみました。

※問 通年施行とはどのような事業ですか。

答 現在合川町で行う圃場整備事業は計画によると四十四年から五十一年度まで八年間の計画となっており、これを夏工を行って夏工を行って四十四年から四十七年までの四年間で工事を全部完了したいという、とです。すなわち稲の作付を休んで年中とおして工事をやることで、それが、県でも合川町をモデル地区にして通年施行を是非実施したい、と言っているようです。

※問 通年施行を行うと、どんな有利な点がありますか。

答 秋から冬にかけての施行に比し気象条件等がよくなるので十アール当り一万三千円から一万五千円程度の工事が安くなること、また工事の内容がよく仕上がること、事業施行の短縮により、とくに労働力の節減が早期に期待できることなどがあるわけですが、このことについては、この町については、国や県が事業費を予算化すると関係農家の皆さんと具体的に説明や相談があると思います。

たばこは 町内で

合川橋が8月20日から 通行止めになります

駅前と李岱を結ぶ県道の合川橋を、永久橋に架替することになり、今年度は仮橋と橋台の工事が行なわれることになりました。

全戸加入の 部落を表彰

去る七月二十四日、公民館において納税貯蓄組合長会議が開かれましたが、杉山田、摩当、梅栄の三つの部落が、他部落に先んじて納税組合に全戸加入を果し、町税を納期限内に納め、町勢の発展に寄与したことで、晴れの表彰を受けました。

農集電話が 12月に開通します

町民のみなさんが待ち望んでいる農村集團電話の架設工事は、この程入札が行なわれ大館市の伊藤工業K Kに落札し、8月20日頃から工事に着手して、十二月末から開通します。



交通事故の防止で

畠山町長が

異例のアピール

交通事故や、火災その他の災害の防止については、これまで町ぐるみの運動を展開してきましたが、これまで発生した米内沢警察管内の事故件数二十三件のうち、合川町は九件とその三十四％が当町の運転者の起した事故となっています。この事態を憂慮して町長は、町民の皆さんへ事故絶滅のため、尚一層の努力と自覚をされるよう、次のように訴えたものであります。



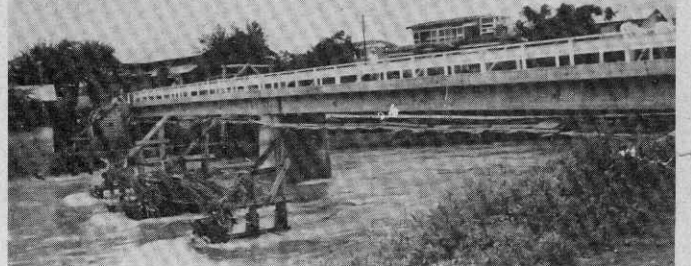
交通安全 全に對する町民や警察署当局の、懸命の努力にもかかわらず町内の事故が激増し遂に県及び県警本部から強く町民のモラルについて指摘される事態となりました。

この際私的の決意を皆様に披瀝し合川町から交通事故の絶滅を期し事故による悲惨なる不幸の発生を未然に防止することに對し皆様の協力をお願い致します。

第一点といたしまして、すでに皆様もご存じのとおり酒飲み運転の禁止であります。酒による神経系統に及ぼす影響は精神の錯乱によるスピード感覚のマヒとなり事故の最大の原因であります。

第二点としては無免許運転の禁止であります。ときと場合によっては、おそろべき凶器と変わる自動車等について、これが運転には法規をもつて規制しておりますが、依然としてこの種の運転が見受けられます。車の鍵は絶対に他人に貸さないで下さい。その他スピード違反、或は歩行者不注意等交通事故発生の原因要素がいろいろあります。町として是非とも事故の絶滅を図るため、今回違反者に対しては通報制を採用する所存です。町民は勿論、運転者自身のため、また妻子や家庭を大きな事故による悲劇を未然に防止するための手段としてであります。また事故による警察署等の調査に

完工間近かの杉山田橋



昨年から二カ年継続事業として着工されていた杉山田橋（杉山田～長信田間）が、この程完工も間近となりいま仕上げ工事が急ピッチで進められている。これは災害復旧事業で総工費 1,831万円を投じたすばらしい永久橋である。

安全と体位向上を願って



今春来、約1,735万円の予算で建設が進められてきた待望の両小学校のプールがこのたびみごとに完成した。夏にはいって、いよいよカッパのシーズン連日うだるような猛暑に涼しさを求めて赤、青、黄と水着の色もあざやかに小学生たちが元気に泳ぎまわっている。

斎藤会長を再選

農業委員会



秋田県農業会議員に小田慶一が選出された。これにより、秋田県農業会議員に小田慶一が選出された。これにより、秋田県農業会議員に小田慶一が選出された。

消防団長に西村哲郎氏



町消防団では、この程班長以上の幹部五十三名が公民館に集って任期満了に伴う団長の推選会を開いた。村哲郎氏を推選した。第一分団長の小林貞雄氏が昇格した。

関喜兵衛氏

(町議会副議長)



去る七月二日、同村議会議員に当選以来、十五日、消防団長等を歴任、引退後、引き続き合川町議会議員、同土木経済委員長、総務財政委員長を経て去る四十三年四月、月副議長に就任、永らく村づくり町づくりに貢献され、氏は、昭和十一年七月二十九日午後一時から上杉大平寺で営まれた。

駐在所だより

夏の盗難防止 お宅の戸締りは大丈夫ですか。三浦勉 修一 二男 三木田・佐藤良行 良美 長男 松岡 多助(前) 羽根山 女 八幡・今泉悟 長七

慶弔だより

自四十四、六、一 至四十四、七、三十一 おめでとう。ご健康をお祈りいたします。

序 内 スポット



菅原令子(25才)



菅原 孝(24才)

昭和四十一年県立保健婦学院を卒業して由利町の由利町保健婦として、ことしの六月まで勤務していたが、去る七月一日付で当町の保健婦として赴任した。仕事にはものすごくファイトの持主で、これまでの四年間の経験を生かしてバリバリ頑張りたいと言っており、保健婦活動に対する彼女への期待は大きい。去る六月結婚したばかりの米内沢高校の教師をしている旦那さんと駅前で二人暮らし(趣味、生花と料理)

- 長男 駅前・松橋則幸 敬一 二男 新田目・加藤 陽次 長女 鎌沢・鈴木政行 太郎 長男 福田・後藤江利子 金男 長女 下杉・杉浦涉 実長 男 増沢・今泉恭子 今泉 律子 健一郎 二女 三女 道城・佐藤政昭 昭三 長男 川井・藤島重孝 伸一 長男 木戸石・伊藤香織 英一 長男 杉山田 以上十五人
- 謹んでごめい福をお祈り申し上げます。 後藤三郎 下杉・成田ミナ 李・佐藤吉太郎 木戸石 金田富蔵 西根田・関弥 吉上杉・畠山三太郎 木戸石・松橋尚三 三里・松橋和吉 道城・藤田勇吉 八幡・松橋喜七 道城・藤島辰治 木戸石・佐藤キツ川井・桜井修 下杉・佐藤ユキ 東根田 以上十四人

8月町政メモ	
8月1日	農業生産組合組 織検討会
8月2日	野外研修(田沢 湖方面)
8月3日	新成人の研修 (泉湖)
8月5日	海浜学級
8月6日	町体育委員会 婦人祭
8月7日	客 宅地造成関係者 会議
8月8日	構造改善山村振 興近代化パイロ ット事業実施計 画指導
8月11日	農業委員会 ことぶき大会
8月15日	町体部代表者 会議
8月16日	議院研修会 桃栄児童館竣工 式
8月18日	出稼者懇談会 少年ソフトボー ル大会
8月19日	町体監督者会議 遺族大会(追悼 式)
8月20日	農近ゼミ県大会 杉山田橋竣工式
8月24日	町民体育祭
8月30日	発明研究展示会